

談話室

歩行者と自転車を優先!

小野 悠 三*

Yuzo Ono

我が家は中央線で新宿から数えて5つ目、荻窪。会社は山手線は浜松町。荻窪からまたバスに乗るから通勤には1時間くらい。5月の始め、その日は仕事も早く終わり、陽気はおどろくほど良かった。浜松町まで来たとき『わが家まで歩いてみよう』と考えた。神谷町から虎の門、溜池から赤坂見附、四ツ谷を通過して新宿、後は青梅街道をひたすら西へ。3時間8分掛かった。終り頃、少し足がいたかった。

歩きながら思ったこと。

「新宿まで1時間半だ。自転車だったら30分だろう。しかし、歩くバカはもちろん、自転車を利用する奴もいないだろうな。」

現在の都会の道路は自動車優先である。歩行者は従である。歩道はあるにはあるが、十分でない場合も多い。自転車にいたっては除け者である。あれは歩道を走るべきなのか、車道を走るべきなのか。おまけに駅にでも行こう物なら、厄介者扱いだ。

確かに自動車は便利だ。目的の場所に早く、快適に、安全に行くことができる。しかし、それが人間を横着にし、弱くし、貴重な石油と言う資源を際限なく使い、公害問題を引き起こしていることも事実である。今や都心は自動車のための道路があり、そこに車が溢れようとしている。

交通問題に対する従来の取組方法は『欲望充足型』であった。自動車と言う便利なものが出た。活躍するために道路を整備した。自動車は益々便利になった。おかげで自動車が溢れた。そして交通渋滞が起こった。この問題を解消するためにまた道路を造った。また車が増えた。このループは際限がない。

逆の考え方は取れぬかと思う。歩行者と自転車を優先し、

・自転車専用レーンを道路に設けたり、自転車専用道路を造る。

・高速道路を日本中に作った熱心さで、駐輪場をつくる。

・歩道を広く、歩きやすくする。

等々。今の道路事情からすれば、一方通行や通行禁止の道路ばかり増え、駅前広場はバスと自転車で埋めつくされるかも知れない。自動車にとっては都合が悪いだろうが、そこがツケメ!それでも車がふえるなら

・高速道路を増やさず、料金は上げる。

・ガソリン税や、自動車税を上げる。

こんな自動車会社とドライバーが目を剥きそうな考え方がないでもない。

『談話室』になにか書いてください。」と頼まれて、いままでの物を調べた。

松橋氏は『持続可能な社会における生活や社会システム、エネルギーシステムはいかなるものか』、残念ながら、現在の著書には明確なイメージが無い。」と書かれている。どの様なイメージを描くかは別としても、従来の『欲望充足型』の取組みの向こうに持続可能なシステムがあるとはとても思えない。

本間氏は現在の交通問題を「時間をエネルギーで買っている。」とされた上で、「我々は自由時間を得るのに、貴重なエネルギーを多量に費やさなければならないとすれば、これからは時間のもっと有効な配分を考える必要があるように思われる。その一つの方法は、拘束時間をアメニティによっておきかえることである。」と言われている。

残念ながら、浜松町と我が家の間にはアメニティで置き換えられる道路はない?そんな話をしたら、友達「今まで、日本は成長だけを考えていたからね。」と言った。

狭い道路の日本ではアメニティ優先道路は無理だろう。それでも自動車主体から歩行者と自転車主体の道路、そのための施策……こんな、見方によれば目茶な考え方が時には必要な時期にきている様に思う。

*東京ガス(株)国際部副部長

〒105 東京都港区海岸1-5-20